

イミダプリル塩酸塩錠2.5mg「PH」 イミダプリル塩酸塩錠5mg「PH」

【この薬は？】

販売名	イミダプリル塩酸塩錠2.5mg「PH」 IMIDAPRIL HYDROCHLORIDE Tablets 2.5mg “PH”	イミダプリル塩酸塩錠5mg「PH」 IMIDAPRIL HYDROCHLORIDE Tablets 5mg “PH”
一般名	イミダプリル塩酸塩 Imidapril Hydrochloride	
含有量 (1錠中)	2.5mg	5mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、アンジオテンシン変換酵素阻害薬と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・アンジオテンシン変換酵素（ACE）の働きを阻害することで、血管を収縮する作用のある体内の物質（アンジオテンシンⅡ）の生成を抑え、血圧を下げます。
- ・次の病気の人に処方されます。

高血圧症

腎実質性高血圧症

1型糖尿病に伴う糖尿病性腎症

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にイミダプリル塩酸塩錠「PH」に含まれる成分で過敏症のあった人
- ・過去に血管浮腫になったことがある人
- ・アフェレーシス^{※1}を受けている人で、デキストラン硫酸固定化セルロース、トリプトファン固定化ポリビニルアルコールまたはポリエチレンテレフタレートを用いた吸着器を使っている人
- ・血液透析^{※2}を受けている人で、アクリロニトリルメタリルスルホン酸ナトリウム膜（AN69）を使っている人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・アリスキレンフマル酸塩（ラジレス）を使用している糖尿病の人（ただし、その他の血圧を下げる治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の人を除く）
- ・サクビト rilバルサルタンナトリウム水和物（エンレスト）を使用している人、または使用をやめてから 36 時間以内の人

※1 アフェレーシス：患者さんの血液中から不必要な成分を取り除いて、浄化した血液を再び患者さんに戻す方法

※2 血液透析：患者さんの血液を体外へ送り出し、人工腎臓（透析装置）で血液中にたまった老廃物を取り除き、水や電解質のバランスを整え、きれいになった血液を再び患者さんに戻す方法

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・腎動脈狭窄のある人
- ・高カリウム血症の人
- ・脳血管に障害がある人
- ・重い高血圧症の人
- ・厳重な減塩療法中の人
- ・腎臓に障害がある人
- ・血液透析中の人
- ・授乳中の人

○この薬には次のような併用してはいけない治療法があります。アフェレーシスや血液透析を受ける場合は、必ず医師に相談してください。

- ・アフェレーシスでデキストラン硫酸固定化セルロース、トリプトファン固定化ポリビニルアルコールまたはポリエチレンテレフタレートを用いる場合
- ・血液透析でアクリロニトリルメタリルスルホン酸ナトリウム膜を用いる場合

○この薬には併用してはいけない薬 [アリスキレンフマル酸塩（ラジレス）（糖尿病の人。ただし、その他の血圧を下げる治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の人を除く）、サクビト rilバルサルタンナトリウム水和物（エンレスト）] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

〔高血圧症、腎実質性高血圧症に使用する場合〕

一回量	5～10mg
飲む回数	1日1回

- ・重い高血圧の人、腎臓に障害のある高血圧の人または腎実質性高血圧症の人は2.5mgから飲み始めることがあります。

〔1型糖尿病に伴う糖尿病性腎症に使用する場合〕

一回量	5mg
飲む回数	1日1回

- ・腎臓に重篤な障害がある人は2.5mgから飲み始めることがあります。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・血圧が下がることにより、めまい、ふらつきがあらわれることがあるため、高所作業、自動車の運転など危険を伴う機械の操作には注意してください。
- ・手術前24時間はこの薬を使用しないことが望ましいので、手術を受ける場合、必ずこの薬を飲んでいることを医師に伝え、医師の指示に従ってください。
- ・腎臓に障害がある人やコントロール不良の糖尿病の人は高カリウム血症をおこすおそれがあるため、これらの人では必要に応じて血液検査がおこなわれます。
- ・この薬の飲み始めに一時的に急激な血圧の低下（立ちくらみ、めまい、頭痛）があらわれることがあるため、そのような場合には、医師に連絡してください。

- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使うことができません。
- ・この薬を使用中に妊娠が判明した場合や妊娠が疑われる場合（月経遅延、つわり症状、基礎体温を測定している場合は高温期の持続）は、速やかに医師に相談してください。

- ・妊娠する可能性がある人は、医師や薬剤師に、この薬が妊婦や胎児に影響を及ぼす可能性があることについて説明を受け、十分に理解してください。特に、妊娠の希望や予定のある人は、医師に相談してください。
 - ・この薬の使用前及び使用中も定期的に医師や薬剤師が妊娠していないことを確認します。
 - ・授乳している人は、医師に相談してください。
- 薬の影響を心配する女性に対し、妊娠と薬情報センターで相談に応じています。さらに詳しい説明を希望される場合には妊娠と薬情報センターにご相談ください。
- 《妊娠と薬情報センター》
(国立成育医療研究センター) 電話：03-5494-7845

- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

〔1型糖尿病に伴う糖尿病性腎症に使用する場合〕

- ・飲み初めの1ヵ月以内に急速に腎機能が悪化したり、高カリウム血症があらわれたりすることがあるため、飲み初めには血液検査が行われます。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
血管浮腫 けっかんふしゅ	唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、喉がつまる感じ、息苦しい、声が出にくい
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
汎血球減少 はんけつきゅうげんしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきからの出血、息切れ、動悸（どうき）、あおあざができる、出血しやすい、発熱、寒気、喉の痛み
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
腎機能障害の増悪 じんきのうしょうがいのぞうあく	尿量が減る、むくみ、体がだるい
高カリウム血症 こうかりうむけつしょう	体のしびれ、体に力が入らない、吐き気、嘔吐（おうと）、下痢、お腹が張る
紅皮症（剥脱性皮膚炎） こうひしょう（はくだつせいひふえん）	ほぼ全身の皮膚が発赤する、発熱をしばしば伴う、しばしばフケのようなものがはがれ落ちる

重大な副作用	主な自覚症状
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (ステイブンス・ジョンソンしょうこうぐん)	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
天疱瘡様症状 てんぼうそうようしょうじょう	全身の皮膚や粘膜に大小の破れやすい水ぶくれ (水疱) やびらんが多発する
膣炎 すいえん	強い腹痛、背中の痛み、お腹が張る、吐き気、嘔吐、体重が減る、喉が渇く、尿量が増える、皮膚が黄色くなる、油っぽい下痢が出る

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	出血が止まりにくい、出血しやすい、発熱、寒気、むくみ、体がだるい、体のしびれ、体に力が入らない、発熱をしばしば伴う、体重が減る
頭部	めまい、しばしばフケのようなものがはがれ落ちる
顔面	唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、鼻血
眼	目の充血やただれ
耳	耳鳴り
口や喉	喉がつまる感じ、声が出にくい、歯ぐきからの出血、喉の痛み、吐き気、嘔吐、唇や口内のただれ
胸部	息苦しい、息切れ、動悸
腹部	お腹が張る、強い腹痛
背中	背中の痛み
皮膚	あおあざができる、ほぼ全身の皮膚が発赤する、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、全身の皮膚や粘膜に大小の破れやすい水ぶくれ (水疱) やびらんが多発する、皮膚が黄色くなる
便	下痢
尿	尿量が増える、尿量が減る

【この薬の形は？】

販売名	イミダプリル塩酸塩錠 2.5mg 「PH」	イミダプリル塩酸塩錠 5mg 「PH」
形状	素錠 	割線入り素錠 
直径	5.5mm	6.0mm
厚さ	2.5mm	2.6mm
重さ	60mg	80mg
色	白色	白色
識別コード	PH171	PH172

【この薬に含まれているのは？】

販売名	イミダプリル塩酸塩錠 2.5mg 「PH」	イミダプリル塩酸塩錠 5mg 「PH」
有効成分	イミダプリル塩酸塩	
添加剤	D-マンニトール、ヒドロキシプロピルセルロース、クエン酸水和物、ステアリン酸マグネシウム	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社:キョーリンリメディオ株式会社(<https://www.kyorin-rmd.co.jp>)

学術部

電話番号：0120-960189

受付時間：9時～17時

（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）